

医学会発 第51号
平成30年10月22日

日本医学会分科会
理事長・会長 殿

日本医学会
会長 門田 守人



ISO/TC249国際規格提案における単回使用の糸状の埋没用の針について
(お伺い)

このたび、日本東洋医学サミット会議事務局長の伊藤 隆氏より、下記のようなお伺いがありました。単回使用の糸状の埋没用の針についてISO規格として認めるかどうかの意見を求められております。締め切り時期が短くて恐縮ですが賛否、ご意見等を期日までにJLOM事務局にお寄せください。

記

下記のISO/TC249国際規格提案に対して、Stakeholderあるいはご意見ある方はご一報ください。

ISO/CD 22236 Traditional Chinese medicine -Thread embedding acupuncture needle for single use (単回使用の糸状の埋没用の針)

解説：皮下に挿入する注射針でこれを通しておそらく縫合糸（生体に吸収される）を入れて、糸を皮内に残留するための道具。規格書そのものには何を入れるかの記載はありません。

日本の鍼灸界にはこの機種を用いる埋没施術をしている人はいないようですが、韓国の鍼灸では美容その他の目的で行われています。

この規格が国際規格として通りますと、影響は不明ですが、ISOはregulationを有していますので、日本国内においても、民間医療レベルでの使用が促進される可能性が懸念されます。

日本として賛成、反対、棄権のいずれかの意見を説明つきで投票しなければなりません。

閲覧ご希望の方には文書PDFをお送りいたします。

ご意見の国内締め切りは10/25です。

問い合わせ先 (Cc)

JLOM事務局 jlomoffice.tokyo@gmail.com

〒105-0022

東京都港区海岸1-9-18国際浜松町ビル6F

一般社団法人日本東洋医学会内

日本東洋医学サミット会議 事務総長 伊藤 隆